



# かえで

夢と笑顔と「ありがとう」が  
あふれる 上里東小学校  
令和4年 1月20日  
第 19 号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】 1, 520冊（目標2500冊） 324名（目標425名） 1月14日現在

おはようございます！



## 挨拶運動

P T A役員による

挨拶運動が1月11日～17日に行われました。P T A役員の方には大変お世話になりました。学校でも毎週月曜日に、職員が校門のところに行っておりますが、子供たちにとってはひと味違ったものになったと思います。出会った人と自然と挨拶が交わせるようになってくれればと思います。

「おはようございます」「ありがとうございます」「こんにちは」「さようなら」「いただきます」「失礼します」など、生活の中には様々な挨拶があります。学校・家庭・地域で、必要とされる挨拶ができる児童を育てていきたいものです。

## 学校給食週間

学校給食は明治22年、山形県鶴岡町の忠愛小学校で、弁当を持ってこられない子供たちのために始まりました。それ以来、各地に広がっていきましたが、昭和18年頃になると、戦争が激しくなったため、食糧が不足して給食も中止となりました。

昭和20年8月に戦争が終わり、昭和21年12月

24日より学校給食が再開されました。これを記念して、12月24日から1月30日が学校給食週間となりました。（12月24日は冬休みが始まるため、1か月遅れとなったようです。）

子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は、子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。



最初の学校給食（明治22年）  
おにぎり・塩鮭・菜の漬物

集中して取り組む子供たち（3-2）



## 学力の定着

12月20日に CRT 検査を全学年で実施しました。CRT 検査とは、目標基準（Criterion）に準拠した（Referenced）検査（Test）の頭文字をとって名付けられたもので、その学年で身に付けてほしい力がどの程度身に付けられたかを客観的にとらえる検査です。（全学年、国語と算数で実施）

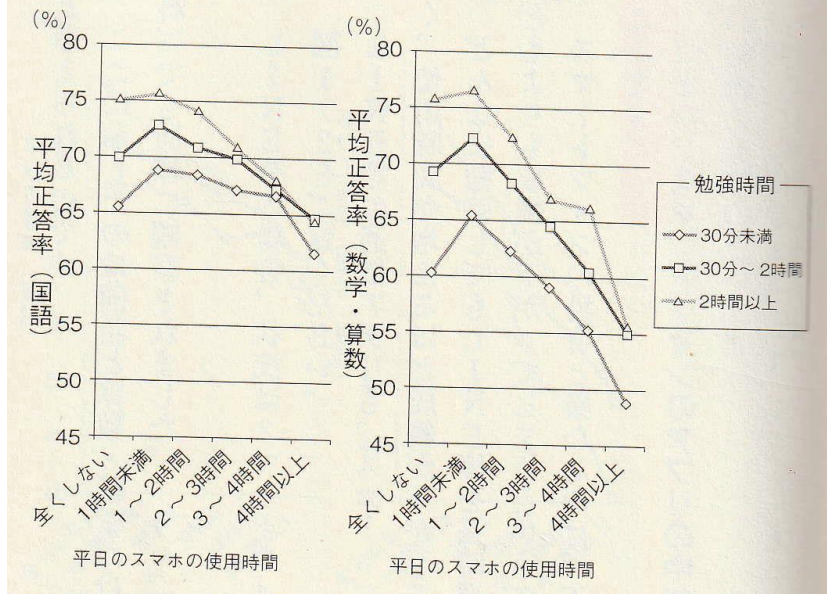
CRT の他にも単元テスト等から明らかになった子供たちのつまづきを今年度中に解消し、次の学年につなげていきます。

検査やテストとなると、点数等の数値が気になるところです。しかし、数値という『結果』ばかりに目を向けるのではなく、結果に至るまでの『過程』に目を向けていく必要があります。どんな学習方法で、どれだけがんばったのか等、教師も子供たちもさらに伸びる（伸ばせる）ための振り返りの材料にしたいものです。

“家で2時間以上勉強しても、ほとんど勉強しない子と同じ成績になってしまう！”

(以下、川島隆太 監修 『やっちはいけない脳の習慣』から抜粋)

図 1-1 スマホの使用時間と成績の関係



勉強時間が長い、つまり、たくさん勉強すれば学力テストの正答率は高くなると予想できます。

そこで、勉強時間を1日30分未満、30分～2時間、2時間以上のグループに分けて平均の正答数をグラフ化しました。

左の図は、スマートフォンの1日の使用時間と正答率の関係をグラフ化したもので、左が国語、右が算数・数学の正答率をそれぞれ表しています。

この図から、全体的な傾向として、スマートフォンの使用時間が増えると成績は下がっていくことが分かります。

特に、算数・数学では顕著に成績が急カーブで低下しています。「スマホに夢中になって、勉強が疎かになったら成績が下がるのは当たり前ではないか」と思われるかもしれません。

果たして、この結果は、スマートフォンのやり過ぎで勉強時間が減ったからでしょうか。この図を横に見ていくと、興味深い事実が見えてきます。

例えば算数・数学の時間が「2時間以上」でスマートフォン使用が「4時間以上」の場合の正答率を見てください。55%です。一方、勉強時間が「30分未満」でスマートフォン使用を「全くしない」場合の正答率は60%です。

家庭で平日に2時間以上も勉強している子が、ほとんど勉強していない子より成績が悪いという衝撃的な結果になっています。たとえ2時間以上勉強しても、4時間以上スマートフォンを使っていると、勉強はほとんどしないがスマートフォンを使わない子供の成績と同じか、それ以下の成績になってしまうのです。(中略)

これは、勉強時間にかかわらず、スマートフォンの使用時間が長い子供から、せっかくやった学習内容が消えてなくなっていったと考えられるのです。ここに示したのは国語と算数・数学ですが、このような傾向は他の教科(社会や理科)でも同様に観察されました。

図 1-3 平日にスマホを使う時間ごとに見た全教科の平均点

